

岩手の文化について調べて、パンフレットにまとめよう

日 時 令和3年9月30日(木) 公開授業①
児 童 男子9名 女子7名 16名
指導者 西野 由衣渚

1 単元の構想

<児童の実態>

- ・ 様々な資料を活用して必要な情報を読み取る学習を行ってきた。
- ・ 2つの新聞記事を読み比べ、書き手の意図を読み取ることができるようになってきている。
- ・ 週1回の朝学習の時間に、ワークシートを使いながら新聞に親しむ学習を行ってきた。

<単元について>◎中心教材 ○補助教材

◎「和の文化を受けつぐ ― 和菓子をさぐる」(東京書籍 新しい国語 五)

○岩手の工芸品についての各種新聞記事や本など

本単元は、「読むこと」の「情報活用」と「書くこと」の「説明・報告」について学習する系統の単元として位置付けられている。本単元は「和の文化を受けつぐ」の説明文の読み取りを通して筆者の説明の仕方について学び、自分で決めたテーマに沿って情報を活用しながら報告の文章を書きまとめるという学習を行う。

本教材は、序論・本論・結論という基本的な文章構成になっており、観点別に必要な資料を用いて書かれているため、筆者の説明の仕方が読み取りやすい。また、自分たちで決めたテーマに沿って文章をまとめる際、筆者の文章構成の仕方や資料の選び方を参考にできると考える。このことから読み取ったことを生かして自分たちの文章にまとめることに適した教材であるといえる。

本単元の学習を通して、新聞や本、インターネットから、伝えたい内容に合わせて必要な情報を見つけ、資料を使って報告の文章にまとめる力を養うことを目指す。

付きたい力

必要な情報を見付ける力
資料を使って説明する力

単元に位置付ける言語活動

「岩手の伝統工芸品」について調べたことを整理し、資料を使ってパンフレットにまとめる。

2 研究の柱にかかわって

研究の柱2 ②学び合いにおける思考活動

本単元では、研究の柱2②に示された思考活動のうち、主に次の思考活動を位置付ける。

- ・ 自分たちの調べたい岩手の伝統工芸品について、新聞→本→インターネットの順番に調べ、観点に沿った情報を見付ける。【多面的にみる】【分類する】
- ・ 分かりやすく伝えるために、どのような資料を活用するとよいかグループごとに話し合い、選択する。【比較する】【理由付ける】

研究の柱3 ①読書活動・NIE

本学級では、NIEに関連した取組として毎週1回新聞ワークシートを用いている。「自然科学」「SDGs」など様々なジャンルを扱ってきたが、どの記事にも興味をもって取り組んでいる様子が見られる。また、自分で新聞記事を選び、選んだ理由や記事に対する思いを書く活動を行っている。これまでの取組を通して、子どもたちにとって新聞は身近なメディアになりつつある。本単元では新聞→本→インターネットとメディアを分けて調べ学習を行う。それぞれのメディアにはそれぞれの良さがあるが、中でも新聞には「児童にとって身近なメディアである」「地域性を活かした情報を集めやすい」という良さがある。各メディアのそれぞれの良さを活かして情報を収集しながら、最終的にはグループごとに1つのパンフレットが完成するようにしていきたい。

3 単元の学習計画

(1) 単元の指導目標

- ①情報と情報との関係付けの仕方，図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。 [知識及び技能] (2) イ
- ②目的に応じて，文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり，論の進め方について考えたりすることができる。 [思考力，判断力，表現力等] C(1)ウ
- ③目的や意図に応じて，感じたことや考えたことなどから書くことを選び，集めた材料を分類したり関係付けたりして，伝えたいことを明確にすることができる。 [思考力，判断力，表現力等] B(1)ア
- ④筋道の通った文章となるように，文章全体の構成や展開を考えることができる。 [思考力，判断力，表現力等] B(1)イ
- ⑤引用したり，図表やグラフなどを用いたりして，自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。 [思考力，判断力，表現力等] B(1)エ
- ⑥言葉がもつよさを認識するとともに，進んで読書をし，国語の大切さを自覚して，思いや考えを伝え合おうとしている。 「学びに向かう力，人間性等」

(2) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①情報と情報との関係付けの仕方，図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。(2) イ)	<p>①「読むこと」において，目的に応じて，文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり，論の進め方について考えたりしている。(C(1)ウ)</p> <p>②「書くこと」において，目的や意図に応じて，感じたことや考えたことなどから書くことを選び，集めた材料を分類したり関係付けたりして，伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)</p> <p>③「書くこと」において，筋道の通った文章となるように，文章全体の構成や展開を考えている。(B(1)イ)</p> <p>④「書くこと」において引用したり，図表やグラフなどを用いたりして，自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)エ)</p>	<p>①進んで，筆者の説明の仕方や資料の工夫について読み取り，学習課題に沿って，パンフレットに活用できるようにまとめようとしている。</p> <p>②積極的に，文章全体の説明の仕方や効果的な資料の使い方を考え，学習を活かしてパンフレットにまとめようとしている。</p>

(3) 単元の指導と評価の計画 (13 時間)

時	主な学習活動	指導の手立て	評価規準 (評価方法)
1	<p>○学習課題を基に、学習計画を立て、「岩手の伝統工芸品について調べたことを基に、パンフレットで伝える」という見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元で付けたい「言葉の力」と学習課題を確かめる。 ・調べ学習の手段(新聞・本・インターネット)と順番を決め、それぞれのメリット、デメリットを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「和の文化」についての報告の文章を書くという見通しをもてるように、教科書 143 ページのとびらにある写真を提示したり、教師が作った岩手の工芸品について知らせるパンフレットを例として提示したりする。 	
2 3 4 5	<p>○全文を通読し、文章の構成と筆者の説明の観点を捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の内容や問いと答えの関係、接続詞に着目して、序論、本論、結論に分ける。 ・本論が 3 つの観点で書かれていることを捉える。 <p>○筆者の「和の文化」に対する考えを読み取り、説明の効果について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本論 1～3 を読み、筆者が用いている資料の効果と資料の関係についてまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・接続詞や問いと答えに着目することで、序論、本論、結論の構成の仕方や本論が 3 つの観点で書かれていることを捉えることができるようにする。 ・なぜその資料が使われているのかを問うことで、3 つの観点のそれぞれに用いられている資料の効果について考えられるようにする。 	<p>【知・技①】</p> <p>情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っているか確認する。(発言)</p> <p>【思・判・表①】</p> <p>和の文化の良さを伝えるための、筆者の説明の仕方や資料の用い方の工夫を読み取っているか確認する。(発言、ノート)</p> <p>【主体的①】</p> <p>「岩手の伝統工芸品」のパンフレットを書くために、筆者の説明の仕方や資料の工夫について学んだことをまとめようとしているか確認する。(観察)</p>
6 7 8 9 本時	<p>○グループでパンフレットにまとめる「岩手の伝統工芸品」を決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「何について」「どんなことを」調べたいか観点を話し合う。 <p>○グループごとに決めたテーマについて、各メディアを使って必要な情報を収集する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観点に沿って新聞で調べる。 ・観点に沿って本で調べる。 ・観点に沿ってインターネットで調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までに読み取った、和の文化を受けつぐの文章の構成や筆者の説明の工夫を参考にしながら、自分たちのグループのパンフレットの観点が明確になるように助言する。 ・資料を多めに準備し、個人の調べ学習の速さに合わせて追加で提示ができるようにする。 ・足りない情報の観点が一目で分かるように、情報を書いた紙を整理するための表を用意する。 	<p>【思・判・表②】</p> <p>自分たちのねらいに合わせてテーマを選び、必要な情報を観点に沿って見付けたり、整理・分類したりしているかを確認する。(発言、カード)</p>

<p>10</p> <p>11</p> <p>12</p>	<p>○パンフレットを作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べた情報の中から、伝えたい観 点に合わせた効果的な資料をグ ループで話し合いながら探す。 ・必要な情報を選んだり組み合わ せたりして、伝えたいことの内容 を整理する。 ・パンフレットの構成と説明に必 要な資料を考えて構成図にまと める。 ・構成図に沿って実際に報告する 文章を書く。 ・互いの報告の文章を読み合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・説明する内容に合わせて効果的 な資料を選んでいるかを確認す る。 ・班の全員が見通しを持って作業 ができるように、パンフレット作 成の前に構成図を用いる。 ・事実と意見を分けて書く、敬体で 書くなど、書き方を全体で確認す る。 	<p>【主体的②】</p> <p>文章と資料の関係と表し方を理 解し、自分たちで決めたテーマや観 点に沿ったパンフレットを書いて いるか確認する。(観察)</p> <p>【思・判・表③】</p> <p>伝えたいテーマに沿ったパンフ レットになるように、集めた情報を 構成図にまとめているかを確認す る。(構成図, ノート)</p> <p>【思・判・表④】</p> <p>決めた観点に沿って、文章を書い たり資料と結びつけたりして、書き 表し方を工夫しているか確認する。 (パンフレット)</p>
<p>13</p>	<p>○完成したパンフレットを互いに 読み合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の班の発表を聞いて、観点の違 いや気付いたことについて共有 する。 ・観点を基に、他のグループのパン フレットについて感じたことを 共有する。 ・パンフレット作成の過程を確認 し、学びを振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体を通して、パンフレットづく りにおける過程での学びを振り 返るための視点を提示する。 	

4 本時の指導（7時間目／全13時間）

（1）目標

パンフレットを構成する観点に沿って、新聞を用いて必要な情報を見付け、整理することができる。

（2）展開

段階	学習活動	指導上の留意点（・） 評価
つ か む 3 分	1 前時の学習を想起する。 ・新聞での情報収集を行うことを確認する。 2 本時の課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 調べたい「岩手の伝統工芸品」について、 新聞から必要な情報を見付けよう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・調べたことを記載するカード、カードを貼る表を提示し、個人で収集した情報が班全体でのパンフレット作りにつながるという見通しをもてるようにする。
か ん が え る ・ あ ら わ す 37 分	3 本時の学習の見通しをもつ。 ・前時までに決めた観点を確認する。 4 調べ学習をする。 （1）個人で情報収集をする。 ・自分の手元にある記事から、観点に関わる言葉や文を見付けていく。 ・見付けた情報はカードにメモをしていく。 （2）グループで調べたものを出し合って検討する。 ・お互いにカードを見せ合いながら表の中にカードを置き、見付けた情報と足りない情報は何かを捉える。 ・リストアップした情報が書かれている記事はないか全員でもう一度探す。 （3）全体で、それぞれのグループの今日の成果を確認する。 ・表を提示しながら、調べ学習の成果と気付いたことを発表する。 ・新聞を使って調べた感想を交流する。	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までに決めた観点をグループごとに確認する時間を取り、情報収集をすぐに始められるようにする。 ・新聞に番号を振っておき、全員が異なる記事から調べ活動を行うように指示することで、より多くの情報を得られるようにする。 ・グループの人数と同じ枚数の記事を一人ずつ配布し、活動が進んでいる児童には追加で新たな新聞記事を渡せるように用意しておく。 ・カードに新聞記事の番号を書いたり、新聞記事は印を付けながら調べ学習をさせたりすることで、どの新聞記事のどの部分が自分たちのパンフレットに必要なのかをグループで話し合うことができるようにする。 ・表にカードを貼ることで、次時以降の本とインターネットでの調べ学習で優先して知りたい事柄が一目で分かるようにする。 ・各グループの結果を交流する時間を取ることで、自分たちの見付けた情報との共通点や相違点を見付けることができるようにする。 ・他の班の情報収集の結果を聞くことで、自分たちの選んだ岩手の伝統工芸品のどのテーマについても新聞に取り上げられていることを確認できるようにする。

		<p>【思・判・表①】</p> <p>自分たちの決めたテーマに合わせて、必要な情報を観点に沿って見付け、整理している。(発言, カード)</p>
ふりかえる5分	<p>5 本時の学習について振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しく学んだこと ・友達の話聞いて気付いたこと ・次の調べ学習で知りたいこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りの視点を与え、本時の学習を通して新しく学んだことや友達と交流をしながら学んだことについて振り返ることができるようにする。

(3) 評価

おおむね満足できる	努力を要する児童への支援
それぞれのグループで決めた観点に沿って、必要な情報を新聞から見付けて整理することができる。	一人では情報を見付けられない児童には、情報が見付けやすい新聞記事を別に用意したり、何について調べたいのかを聞いたりすることでキーワードを見付けることができるように支援する。